

京都を拠点に活動する現代美術作家 川田知志氏とコラボレーションしたアート作品を 京都支店に 11月20日に設置

システムキッチン・バスを中心とした住宅設備機器メーカー・タカラスタンダード株式会社（本社：大阪市城東区、代表取締役社長：渡辺岳夫）は、京都を拠点に活動する現代美術作家／壁画アーティスト川田知志氏とコラボレーションしたアート作品を、京都支店（京都市伏見区）ロータリーに設置しますのでお知らせします。これは、「高品位ホーロー」の認知度と新たな価値の可能性をさらに高めるとともに、アーティスト支援による社会貢献活動を目的として2022年8月に発足した「ホーロー×アートプロジェクト」の一環によるものです。



（京都支店ロータリー 設置イメージ）

タカラスタンダードは、1912年の創業以来培ってきた独自のホーロー技術で、システムキッチンやシステムバスなどの住宅設備機器を製造・販売しています。ホーローのさらなる可能性を広げるため、2015年には世界で唯一となるホーローインクジェット印刷技術を開発。清掃がしやすい、傷や熱に強いなどのホーローの特性をそのままに、データによる高精細な加飾を可能にしました。その技術をもとに新規事業としてホーロー内装材「エマウォール」の展開を開始し、優れた素材力から、公共施設や駅舎、企業の社屋などでの採用実績を伸ばしています。

2022年8月には今後の持続的成長と新たな事業展開を見据え「ホーロー×アートプロジェクト」を発足。アーティストの方とのコラボレーションによって自社にはない発想やチャレンジが生まれること、それによってホーローの可能性がこれまで以上に広がることを目的に、さまざまな取り組みを行ってきました。第一弾として川田知志氏とのコラボレーション作品を制作し全国で展示した他、「Study：大阪関西国際芸術祭 2023」への出展・協賛など、アートとホーローを通じた社会貢献に取り組んできました。

そしてプロジェクト発足時からコラボレーションしている川田氏が京都を拠点に活動していることを受け、当社京都南ショールームの10月7日（土）のリニューアルに合わせて、新たな作品を設置する運びとなりました。

本作は、京都の伝統的な美意識を現代的に再解釈したホーロー壁画をコンセプトに、「松」をテーマに制作されました。松は魔除けや神が降りてくる樹として、また日本の美しい景観を形成する主役としてさまざまな地域で重宝される特別な存在です。日本の伝統文化が息づく京都の社屋にふさわしく、お客さまをお迎えするエントランスの新たな空間表現として、川田氏が描く現代壁画の「松」を採用しました。

制作においては、ホーローパネルの釉薬等を焼成前に削り取ることで模様や凹凸を描く「カキトリ技法」と当社独自のホーローインクジェット印刷を掛け合わせ、作品表面に表情の違いや凹凸を表現しました。川田氏がフレスコ画で描き下ろした無数の図柄パターンを一点一点デジタル画像に置き換え、また、ホーローに焼き付けることで最大に効果を発揮する画面構成と表現方法を探求。タカラスタンダードの最新の技術と旧来からの技法、作家の手仕事を融合させた唯一無二の作品を半年間かけて完成させました。



1枚ずつ下絵に重ねて「カキトリ」描画する様子

また、本作の完成を記念し設置開始日の11月20日(月)より、1F 京都南ショールームでは、ご来場者さまにスペシャルノベルティとして先着300名さまに壁画のパーツでデザインしたマグネットをプレゼントします。京都へお越しの際には、この場所でしか見られない「ホーロー×アートプロジェクト」による新たな壁画をご覧いただき、リニューアルしたショールームもぜひごゆっくりとお楽しみください。

タカラスタンダードは、これからも独自のホーロー技術を通じてより多くの人により心地よい暮らしをお届けすると共に、ホーローを通じた社会貢献活動に積極的に取り組んでまいります。

【参考資料】

■作品について



「ホーロー×アート」新作壁画全景イメージ
©Satoshi Kawata ©タカラスタンダード

作品名：「松柏仁習」(しょうはくにならう) 日本語
「Learning from evergreens」 英語
作家名：川田 知志
協力：アートコートギャラリー
作品サイズ：片面 横3.5m×縦3.2m (表・裏)
素材：ホーローパネル(エクステリアパネル)
技法：インクジェットプリント・カキトリ
設置場所：タカラスタンダード京都支店
〒612-8444 京都府京都市伏見区竹田田中宮町 61
公開日：2023年11月20日(月)～ 恒久展示

■現代美術作家/壁画アーティスト 川田 知志氏について

1987年大阪府生まれ。2013年京都市立芸術大学大学院美術研究科絵画専攻修了。2019年京都市芸術新人賞受賞。大学でフレスコ画を学んだ後、場所と壁と絵の関係性が社会に及ぼす影響に関心を持ち、壁画制作を軸に作家活動を始める。銭湯、学校、自然の中の散策路、ビルのエントランスや廊下といった公共スペースを発表の場に大規模な壁画インスタレーションを展開し、企業や商業施設における委託制作も手掛ける。伝統的な絵画技法と現代の造形素材を織り交ぜて独自の制作手法を探究しながら、現代の都市空間の記憶の重なりを可視化する「新しい壁画」表現に取り組んでいる。



<タカラスタンダードとは>

1912年創業。「水まわりって、大切だから」をブランドメッセージに、独自の「高品位ホーロー」技術を活かしたシステムキッチン・バスを中心とした住宅設備機器を製造販売。より高度化、多様化、複合化するお客さまのニーズにお応えするホーロー技術のリーディングカンパニーとして、また住宅設備機器のトップメーカーとして、次世代を担う新たなホーローの可能性を追求し、快適な暮らしの創造を目指しています。

[設立：1912年5月30日(創業111年) / 売上高<連結>：2,274億円(2022年度) / 従業員数<連結>：6,445名(2023年3月末時点)]